凡　事　徹　底

当たり前のことを当たり前に

蕨市立第二中学校
学校だより
令和３年度
第２号（５月号）

目標をもち努力することの大切さ

校長　小山　晃弘

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。新学期が始まってからおよそひと月。生徒たちは元気に学校生活を送っています。

さて、4月はスポーツの世界では日本人選手の活躍が多く報道されていました。ゴルフ界では、松山英樹プロが、マスターズ初制覇を果たしたと、大きく報道されました。2011年に初出場してから10回目の挑戦での達成です。テレビ番組では密着取材の映像が流され、手首の痛みに耐えながら治療を続ける姿や、仲間と談笑する姿など、この10年を振り返っていました。松山プロは密着取材の中でたくさんのことを語っていましたが、私が特に印象に残っているのは、「マスターズはなかなか良い思い出の方が少なかったけど、今年優勝することができて良い思い出に変わった。」という言葉です。「マスターズで勝ちたい」と思い続ける気持ちや、目標達成に向けて懸命に取り組むことは、人の気持ちをこんなにも奮い立たせ、変えてくれるのだと感じました。努力が報われることの素晴らしさをあらためて知ることができました。

また、メジャーリーグでは、大谷翔平選手の活躍が報道されています。投打の二刀流として活躍を続ける大谷選手。25日現在でホームランは既に7本。大きな放物線を描いてスタンドに入る打球に、ファンも魅了されています。

以前、学校だよりで、大谷選手が高校時代に書いた「目標達成シート」についてふれたことがありました。野球部の監督から進められて作ったとのことでしたが、3×3のマス目の書かれたシートの中央に「ドラ1、8球団（ドラフト1位で8球団から指名）」と目標が書かれており、その目標を達成するための8つの要素（「体づくり」「コントロール」「キレ」「メンタル」「スピード160km/h」「人間性」「運」「変化球」）が周囲のマスに設定されています。さらにそのシート外側にも3×3のマスがあり、8つの要素を達成するために必要な具体的項目が設定されています。例えば、「コントロール」であればその外側に「インステップ改善」「体幹強化」「リリースポイントの安定」「軸をぶらさない」など、8項目が書かれています。目標達成のために必要なことを明確化し実行するためのツールとして、この「目標達成シート」を活用し、大谷選手は夢を叶えたのだと思います。

今、第二中学校においても、それぞれの部活動が、熱心に取り組んでいます。仮入部期間を終えた1年生も本入部となり、2・3年生の活動も熱を増してきました。二中生の皆さんは、どんな目標をもって、そして、どんな風に努力をしたいと考えているでしょうか。一生懸命は楽しいし、面白い。がむしゃらに走るときもあれば、明確な目標をもって、計画的に取り組むこともあるでしょう。制限が多いなかではありますが、今できることを、最大限頑張ってみませんか。

《学校教育目標》
自ら学び、深く考える生徒　（知）
心豊かで、思いやりのある生徒　（徳）
たくましく、健やかな生徒　（体）

蕨市立第二中学校
電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671
URL：http://www.warabi.ne.jp/~warabi-2/
e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp